



# 主に年配の男性を襲う肺炎 レジオネラ症にご注意！

平成 30 年 6 月 13 日  
富山県感染症情報センター  
(直 0766-56-5431)  
(直 0766-56-8142)

早期発見・  
早期治療

## 感染症発生動向速報

(平成 30 年第 23 週分・6 月 4 日～6 月 10 日)

《 インフォメーション 》

### ●レジオネラ症

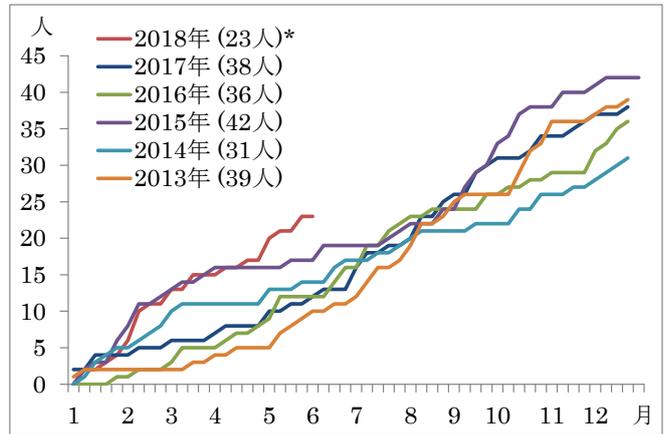
レジオネラ症の県内の年間報告数は、近年 30～40 人程度で推移していますが、今年には既に 23 人報告されています(右図、6 月 11 日現在)。

レジオネラ症は、レジオネラ属菌による感染症です。もともと土壌や水環境に普通に存在する菌ですが、自然環境での菌数は多くありません。しかしながら、水温が 20～45℃で停滞する人工的な環境水(ビルの空調システムの冷却塔水や循環式浴用施設の浴用水など)は、衛生管理が不十分な場合、レジオネラ属菌の増殖の温床となります。人は、菌を含んだ水しぶきや土ぼこりを吸い込むことで感染します。

レジオネラ症は、一過性のポンティアック熱と劇症型のレジオネラ肺炎との二つに分類されます。ポンティアック熱は、発熱を主症状とし、全身倦怠感、悪寒、頭痛、筋肉痛を伴いますが、肺炎症状はみられず、2～5 日程度で自然治癒します。レジオネラ肺炎は、全身倦怠感、頭痛、筋肉痛、食欲不振などの症状に始まり、咳、高熱、悪寒、胸痛が出現します。腹痛や下痢等の消化器症状も見られます。傾眠、昏睡、幻覚、四肢の振せんなどの中枢神経系の症状が早期に出現するのも特徴です。有効な抗菌薬治療がなされないと、致死率は 60～70%にもなりますが、適切な治療がなされれば致死率は 5～10%となります。

**患者の年齢・性別には偏りがあり、県内では 50 歳以上の男性が患者全体の 8 割を占めています。**レジオネラ症は、**早期に診断して適切な治療を開始することが重要**です。上記のような症状がある場合は、早めに医療機関を受診しましょう。

レジオネラ症患者累積報告数の推移(富山県)



(\*6 月 11 日現在)

《 全数報告の感染症 》

三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症 1 件(20 歳代、女性、O26、VT1)  
五類感染症 侵襲性肺炎球菌感染症 1 件(10 歳未満、男性)

《 定点報告の感染症 》

今週の県内上位 6 疾患		定点あたりの数		
順位	疾病名	今週	先週	増減
1 位	感染性胃腸炎	7.03	6.17	↑
2 位	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.97	1.72	↑
3 位	咽頭結膜熱	0.90	1.03	↓
4 位	伝染性紅斑	0.45	0.62	↓
	突発性発しん	0.45	0.52	↓
6 位	水痘	0.41	0.21	↑

この内容は以下のホームページでさらに詳しくご覧いただけます  
アドレス <http://www.pref.toyama.jp/branches/1279/kansen/>

○感染症発生動向調査報告状況（平成30年第23週 平成30年6月4日～平成30年6月10日）

分類	疾患	今週報告分（第23週）						累積報告数					
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
二類感染症	結核							4	7	28	9	35	83
三類感染症	腸管出血性大腸菌感染症			1			1			1		3	4
四類感染症	E型肝炎							1					1
	A型肝炎											3	3
	つつが虫病											1	1
	レジオネラ症							1	1	2	2	17	23
五類感染症	アメーバ赤痢										1		1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症									1		5	6
	急性弛緩性麻痺										1		1
	急性脳炎							1					1
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症							3		4	2	3	12
	侵襲性インフルエンザ菌感染症							2		1		1	4
	侵襲性肺炎球菌感染症				1		1	2	2	3	4	11	22
	水痘（入院例）							1		1		1	3
	梅毒									1		4	5
	播種性クリプトコックス症											2	2
	百日咳											1	1
	風しん										1		1
定点疾病 <small>（下段は定点当たりの患者数を示す）</small>	インフルエンザ	4		7	1	3	15	2,222	1,824	3,485	2,441	5,334	15,306
		0.57		0.54	0.14	0.19	0.31						
	RSウイルス感染症			4		7	11	33	20	48	24	207	332
				0.50		0.70	0.38						
	咽頭結膜熱	2		12	2	10	26	132	48	180	20	232	612
		0.50		1.50	0.50	1.00	0.90						
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	7	3	10	7	30	57	91	74	385	164	480	1,194
		1.75	1.00	1.25	1.75	3.00	1.97						
	感染性胃腸炎	22	35	30	9	108	204	622	424	699	150	1,717	3,612
		5.50	11.67	3.75	2.25	10.80	7.03						
	水痘	1		7	2	2	12	8	3	78	48	75	212
		0.25		0.88	0.50	0.20	0.41						
	手足口病				2	3	5	1	8	20	12	91	132
					0.50	0.30	0.17						
	伝染性紅斑			4	5	4	13	3	1	63	34	17	118
				0.50	1.25	0.40	0.45						
	突発性発しん	2	2	5	2	2	13	34	24	93	27	71	249
		0.50	0.67	0.63	0.50	0.20	0.45						
	ヘルパンギーナ		1			2	3	1	1	1	1	2	6
			0.33			0.20	0.10						
	流行性耳下腺炎	1			1	1	3	2	5	10	3	15	35
	0.25			0.25	0.10	0.10							
急性出血性結膜炎				2		2				13		13	
				2.00		0.29							
流行性角結膜炎							1	11	3	1	3	19	
細菌性髄膜炎											3	3	
マイコプラズマ肺炎								2	4	3	7	16	
クラミジア肺炎										1		1	
感染性胃腸炎（ロタウイルス）							3		2	2	6	13	
インフルエンザによる入院患者（*）							51	55	39	150	93	388	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

\*インフルエンザによる入院患者累計報告数は、平成29年第36週（9月4日）～の集計です。

○感染症発生動向調査報告状況（平成30年5月分）

		5月報告分					累積報告数						
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
五類感染症 (定点把握)	性器クラミジア感染症		1	2		9	12		2	7		40	49
			1.00	0.67		2.25	1.20						
	性器ヘルペスウイルス感染症		1			2	3		3	2		8	13
			1.00			0.50	0.30						
尖圭コンジローマ				1	2	3			1	7	6	14	
				0.33	2.00	0.30							
淋菌感染症						1	1			1		8	9
						0.25	0.10						
月報対象疾患 (下段は定点当たりの患者数を示す)	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		3		4	8	15	7	9	7	14	25	62
			3.00		4.00	8.00	3.00						
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症				3		1	4	2		12	2	5
				3.00		1.00	0.80						

本月報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。